

青森河川国道ニュース

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 地域づくり相談室 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38 TEL017-734-4529

平成30年
100周年
岩木川改修事業

歴史編 VOL2

今年（平成30年）、大正7年12月から始まった岩木川改修事業が100周年を迎えることから当ニュースでは、その改修の歴史や100周年に向けた各種行事やイベント情報などを定期的に発信していきます。

●岩木川改修100周年記念 特集「改修のあゆみ」

- VOL 1：大正7年 国直轄による改修事業開始
- VOL 2：大正15年～昭和21年 十三湖水戸口突堤建設
- VOL 3：昭和21年～昭和36年 十三湖囲繞堤の建設
- VOL 4：水との戦い（洪水被害に泣いた昭和30年、35年洪水）
- VOL 5：水との戦い（洪水被害に泣いた昭和50年、52年洪水）
- VOL 6：水との戦い（洪水被害に泣いた平成25年洪水）
- VOL 7：岩木川の治水に尽くした人々
- VOL 8：岩木川改修100周年記念講演会のお知らせ

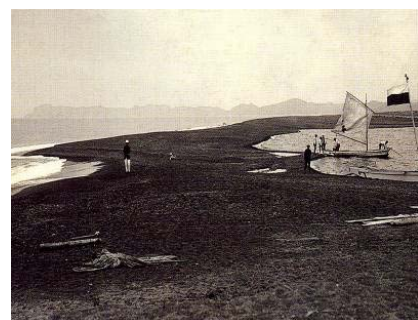
大正15年～昭和21年、十三湖水戸口突堤建設

■当時の状況

十三湖水戸口は、西風による荒波により幾度となく閉塞し、行き所のなくなった水が溢れ、岩木川下流地域に大きな被害をもたらしてきました。



水戸口閉塞時の想定氾濫区域(大正12年1月)



水戸口閉塞状況(大正14年8月)

■水戸口整備の経緯

岩木川改修事務所職員が、水戸口の突堤計画のために、5年間(大正9年～13年)で約240回の地形変化の調査を実施し、それらの結果からほとんど変化のない地点をヒントに、突堤の位置、幅、長さなどを決定し、大正15年から工事に着手、昭和21年に完成させました。以降、一度も閉塞することなく機能を維持しています。この河口処理は、当時の施工技術として数少ない成功例となっています。



現在の水戸口



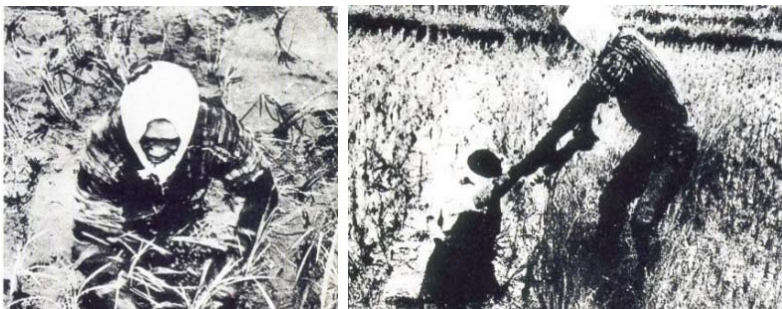
大正11・12年の水戸口変形図



漂砂日誌

■水戸口整備による効果

閉塞が解消され、十三湖水位が下がったことから、低湿地帯が畑や宅地として使えるようになりました。



極度の湿地帯での農作業は困難を極め、腰切田・乳切田と呼ばれた。

■土木学会選奨土木遺産へ認定

地域を苦しめた度重なる浸水被害を解消し、岩木川の治水と津軽平野の発展の礎となった貴重な土木遺産として認定されました(H28.9.16)



認定記念式典H29.1.13